

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

## 「がん遺伝子パネル検査受検患者の実態分析」に関する研究

### 1. 研究の対象

2019年10月1日から2023年7月31日までの間に、がん遺伝子パネル検査の説明を受けるために当院の遺伝子診療科へ受診された方

### 2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2027年3月31日 まで

### 3. 研究目的・方法

**目的** 患者さんの理解や認識、検査の選択やその後の治療と転帰など分析し、がん遺伝子パネル検査を受検する患者さんの傾向やニーズをとらえることを目的としています。がん遺伝子パネル検査を検討された患者さんの医学的状況、検査に対する理解や認識、検査の選択、検査の後どのような治療を受けられたかなどをカルテの情報から分析します。このことにより、がん遺伝子パネル検査を受検する患者さんの実態をとらえ、がんゲノム外来にて、より適切に本検査を説明し、意思決定の支援ができるようにすることが目的です。

**方法** この研究では、電子カルテから項目4の情報を抽出し使用させていただきます。氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、検査に対する理解度や身体・気持ちのつらさを含む受診時の問診情報、治療歴、がん遺伝子パネル検査結果、がん遺伝子パネル検査の結果を分析し報告書を作成するための専門家会議（エキスパートパネル）で推奨された治療、結果説明後に患者さんが受けた診療など

#### 5. 情報の提供先・提供方法

研究に用いる情報は、東海大学医学部及び東海大学医学部付属病院の中で保管し、他の研究機関に提供することはありません。

#### 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供は受けておらず、また、開示すべき利益相反はありません。

#### 7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2121）

研究責任者                      遺伝子診療科                      大貫 優子

問い合わせ担当者              遺伝子診療科                      大貫 優子